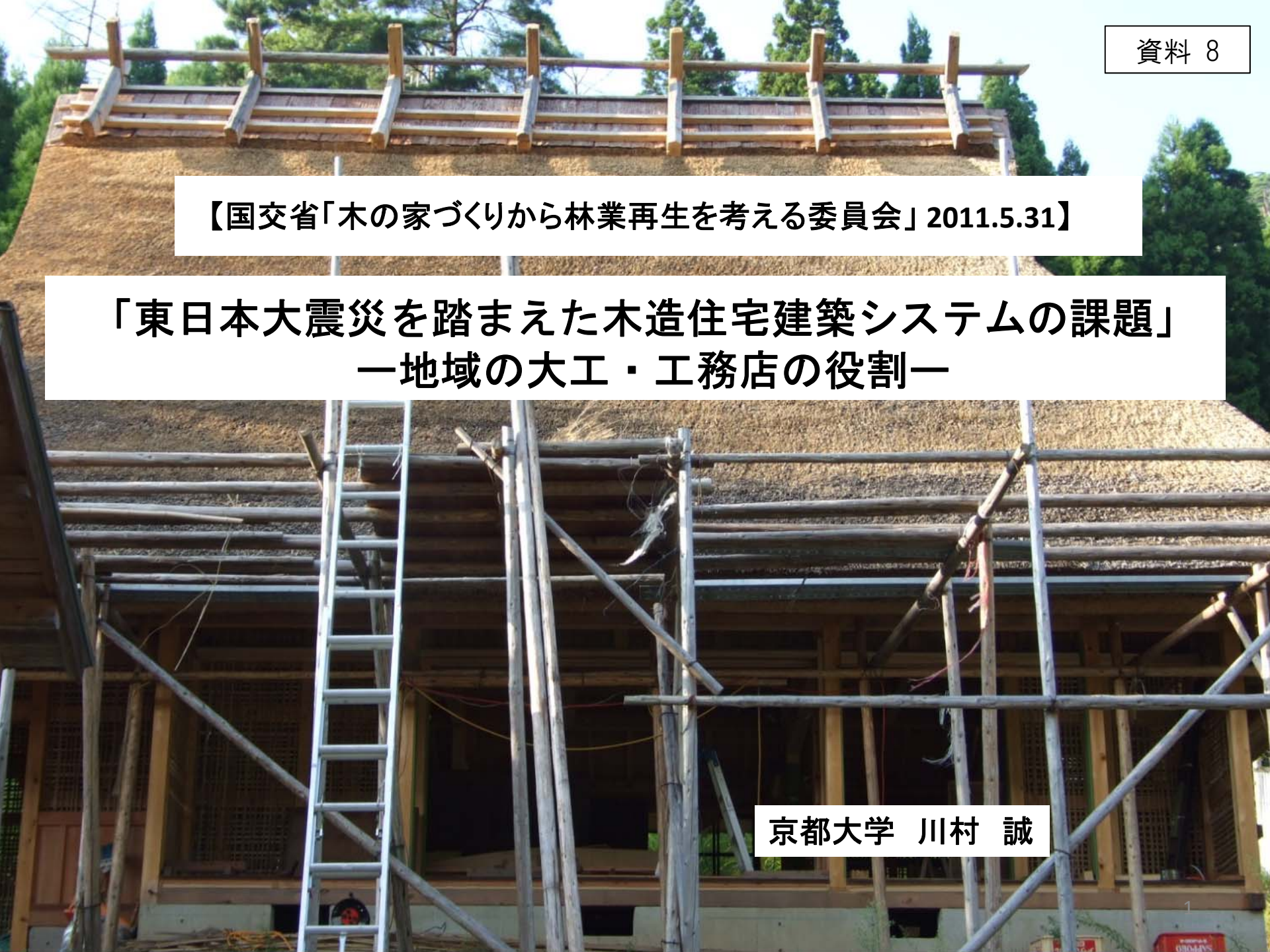


【国交省「木の家づくりから林業再生を考える委員会」2011.5.31】

「東日本大震災を踏まえた木造住宅建築システムの課題」 —地域の大工・工務店の役割—

京都大学 川村 誠



震災の復旧・復興に向けた家づくりの課題

- 1 港湾や都市部に集中した“高密度”被害と同時に
 - (1)広範な農山漁村集落に分散した小規模被害
 - (2)都市部における分散した住宅の個別被害の拡大
- 2 とくに上記の(1)や(2)の被災住宅の復旧・復興に、地域の中小大工・工務店の果たすべき役割は大きい。

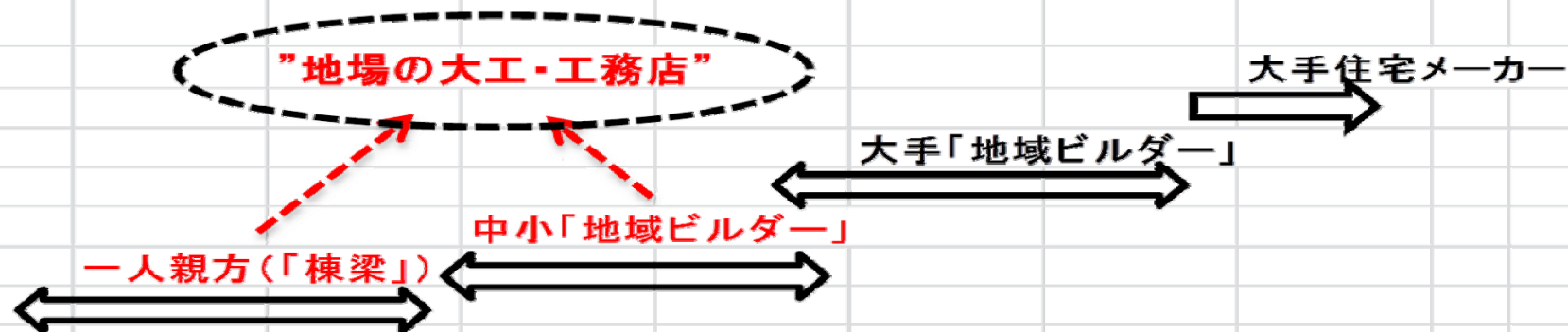


問題 (1)地域の大工・工務店自身も被災しているケースが少ない。
(2)3.11以前から、既に地域の大工・工務店は、事業展開の上で大きな課題を抱えており、一部に活発な経営体が見られるものの、多くは縮小を余儀なくされていた。



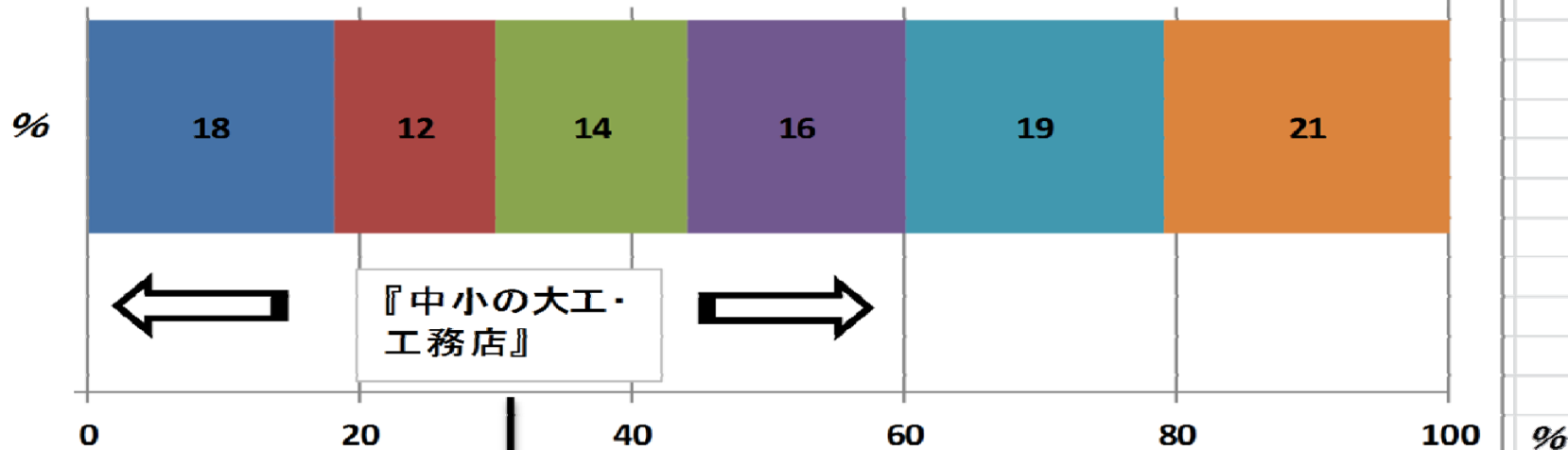
地域の中小大工・工務店(“地場の大工・工務店”)の仕組み(住宅建築システム)の何が問題化を検討して、復旧・復興に向けた担い手の在り方を考えたい

1 地域の大工・工務店(“地場の大工・工務店”)とは



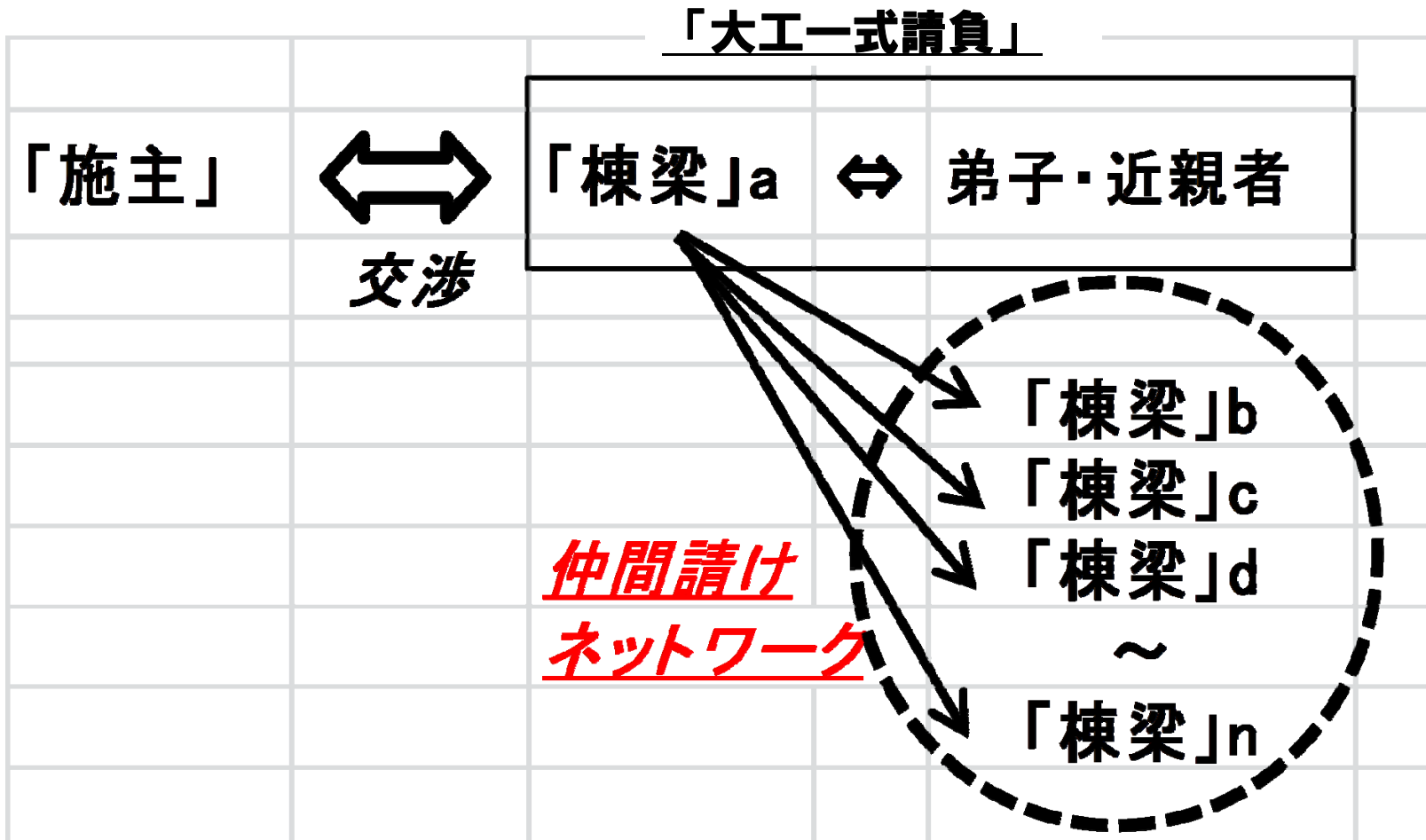
【「在来工法」住宅の年間受注規模別・住宅供給戸数比率(%)】

■ 1～4戸 ■ 5～9戸 ■ 10～19戸 ■ 20～49戸 ■ 50～299戸 ■ 300戸以上

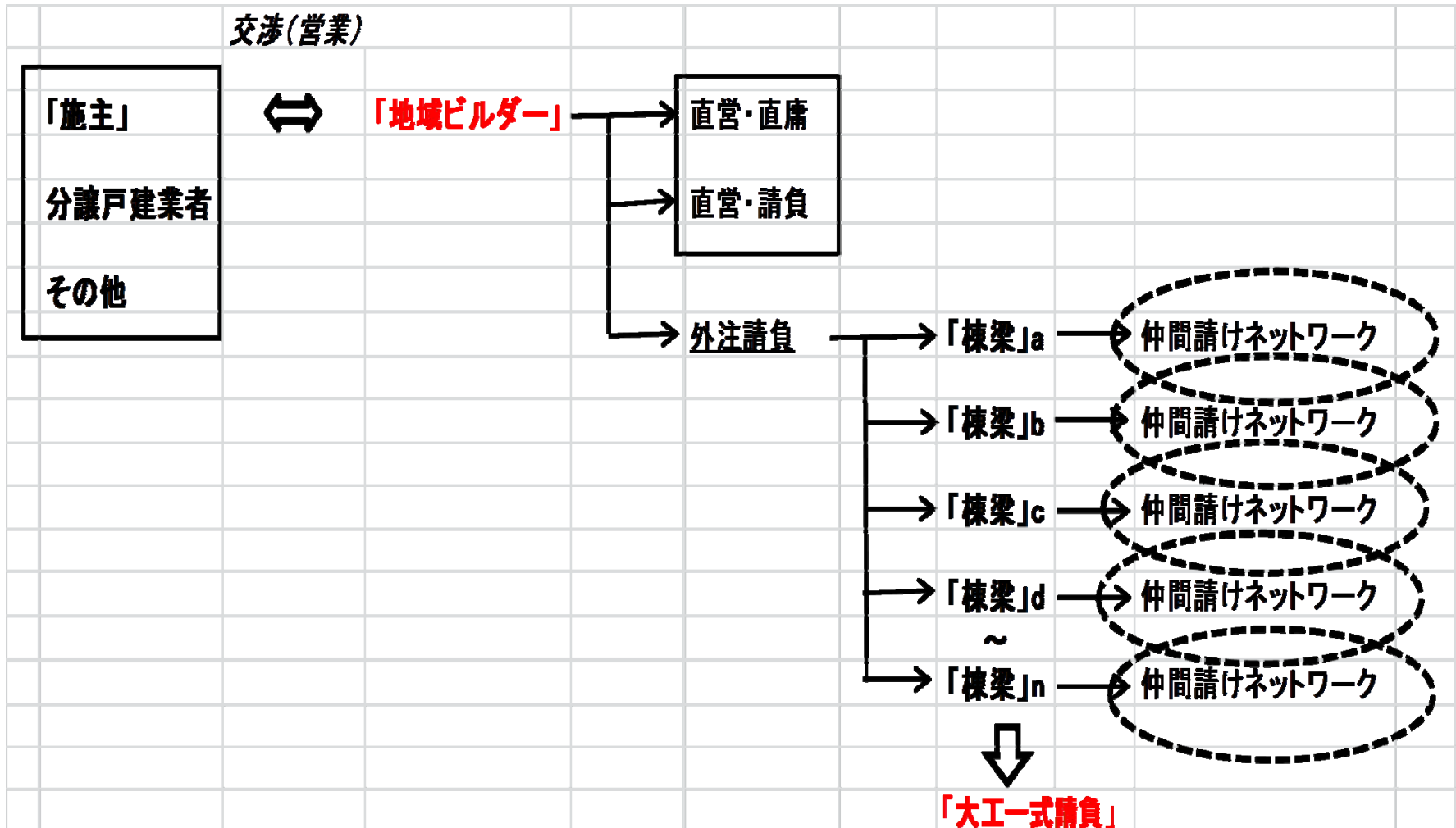


(戸数比率:平成14年度住宅金融公庫調べ)

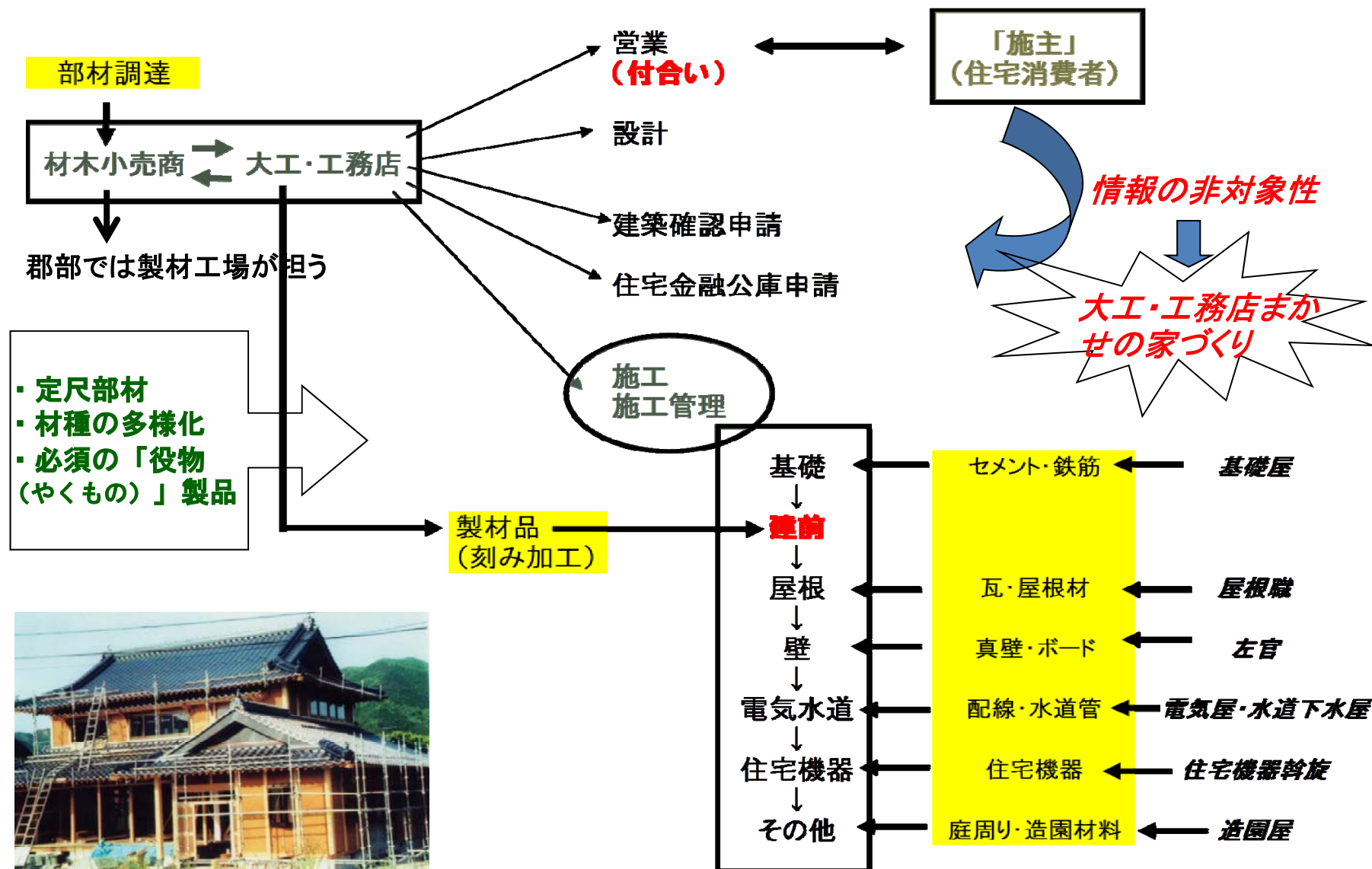
2 “地場の大工・工務店”による仲間請けネットワーク



3 「地域ビルダー」による大工・工務店の組織化



4 高度経済成長と「大工一式請負」の形成



「柱角」の多用と「座敷・床の間」志向の生活文化



製材品ブランド
「吉野杉赤造作」



人工絞り丸太
(床柱)



「柱角」製品を多用する「在来工法」住宅



<http://www.yoshino-wing.jp/>
「座敷」志向の「在来工法」住宅

5 「大工一式請負」契約の金銭的特徴

- 1 「棟梁」は、「施主」から設計・施工管理・完工引き渡しまで、一切を請け負う
- 2 金銭的な契約は、手付金に始まり何段階かの支払いを経て、最終的な金額が決まる(→工種別の費用明細は最終段階で示される)



「棟梁」から施工協力者への支払いは、「施主」からの支払いと各種工事の進捗合わせて随時に行われる



木工事の資材については、「棟梁」により邸別に明細が材木店(または製材工場)に示され、必要な材種は両者の長期継続取引(阿吽の呼吸)で供給され、支払いは後日となる

「棟梁」は資金調達力に乏しく、自転車操業を余儀なくされる

6 「大工一式請負」は、なぜ成り立たなくなったのか

1 新築受注の激減

2 「棟梁」としての収益性の悪化

(1) 高価格材によるマージン取得が困難となった

(2) 手刻みによる最終加工からプレカットへの移行

→ 部材の大工・工務店持ち込みから、プレカット工場調達への移行

→ 加工手間賃の喪失



3 住宅の高度化(イノベーション)について行けない



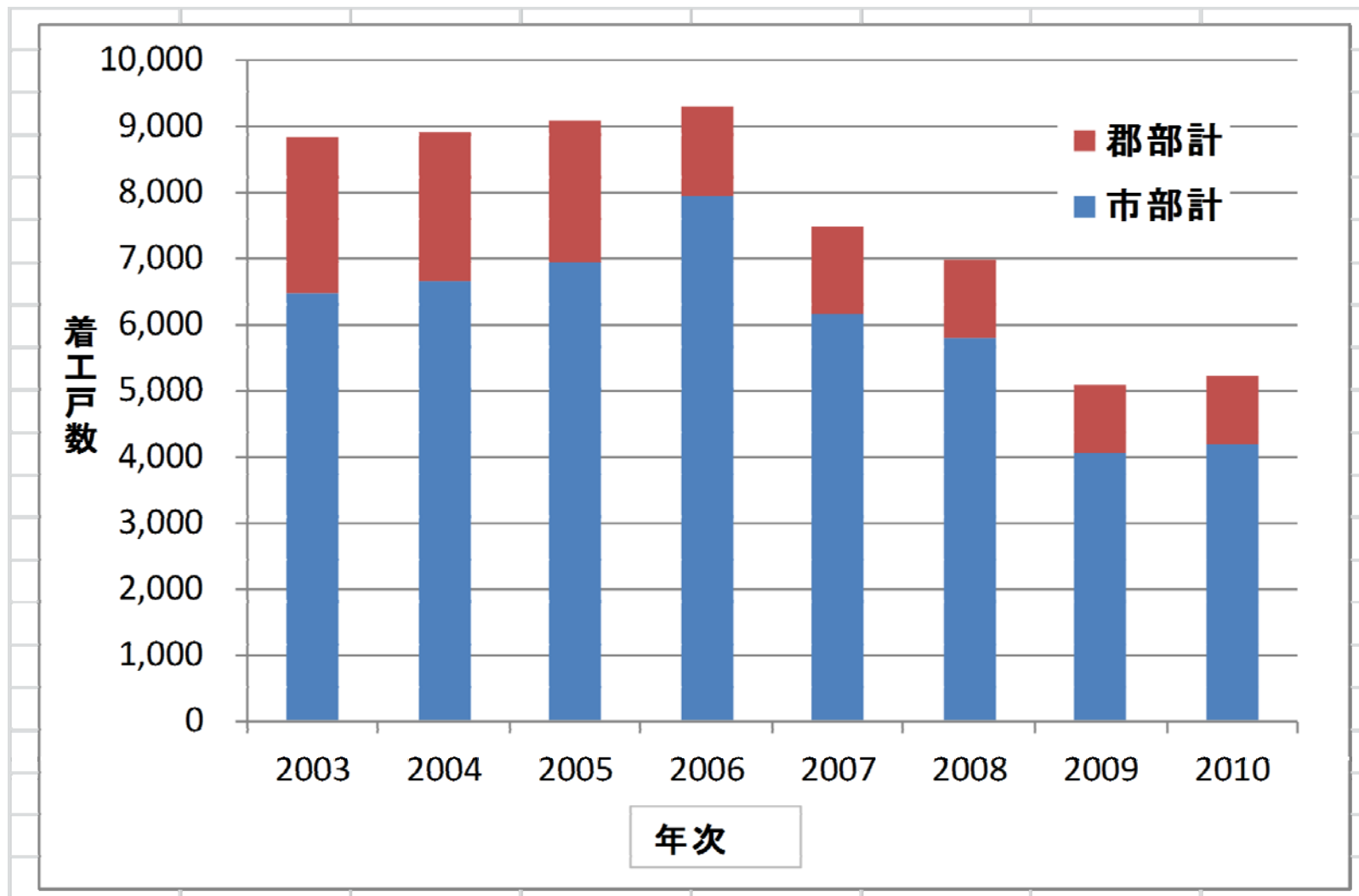
4 リフォーム(改築・改修)の増加

(1) 「棟梁」にとって、本来、新築受注を前提とした付き合い仕事

(2) ボード、フローリング、住宅機器への傾斜

→ 「棟梁」手間賃はさらに減少

図 岩手県市部・郡部別 新設住宅着工戸数の推移



注) 岩手県建築住宅課資料により積算

表 岩手県・構造別新設住宅着工戸数の推移

年次	住宅着工戸数（戸数）			木造率 （％）	一戸当床面積 （㎡）
	総数	木造	非木造		
1978	16,250	13,126	3,124	81	109
1988	14,236	11,500	2,736	81	93
1998	11,756	9,101	2,655	77	100
1999	12,505	9,256	3,249	74	110
2000	11143	8514	2629	76	111
2001	11108	7588	3520	68	101
2002	9757	6840	2917	70	105
2003	8838	6614	2224	75	106
2004	8906	6290	2616	71	97
2005	9065	6101	2964	67	100
注）岩手県建築住宅課資料により算出					

表 市町村別・新設住宅着工戸数の推移

		単位：戸数							
市部・郡部別	市町村名	年次							
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
市部	盛岡市	2,859	3,057	3,087	3,255	2,324	2,275	1,523	1,814
	宮古市	175	201	252	247	186	151	94	184
	大船渡市	146	142	174	171	171	90	86	103
	陸前高田市	143	107	90	115	79	67	101	68
	釜石市	174	113	137	162	235	197	174	127
郡部	気仙郡(住田町)	33	22	13	22	19	7	21	6
	上閉伊郡(大槌村)	44	59	57	50	45	31	28	43
	下閉伊郡(山田町)	56	69	56	71	49	63	36	23
	下閉伊郡(岩泉町)	57	30	20	24	27	30	22	11
	下閉伊郡(田野畑村)	18	11	6	6	3	5	4	3
	下閉伊郡(普代村)	14	11	5	8	2	5	3	7
注) 岩手県建築住宅課資料による									

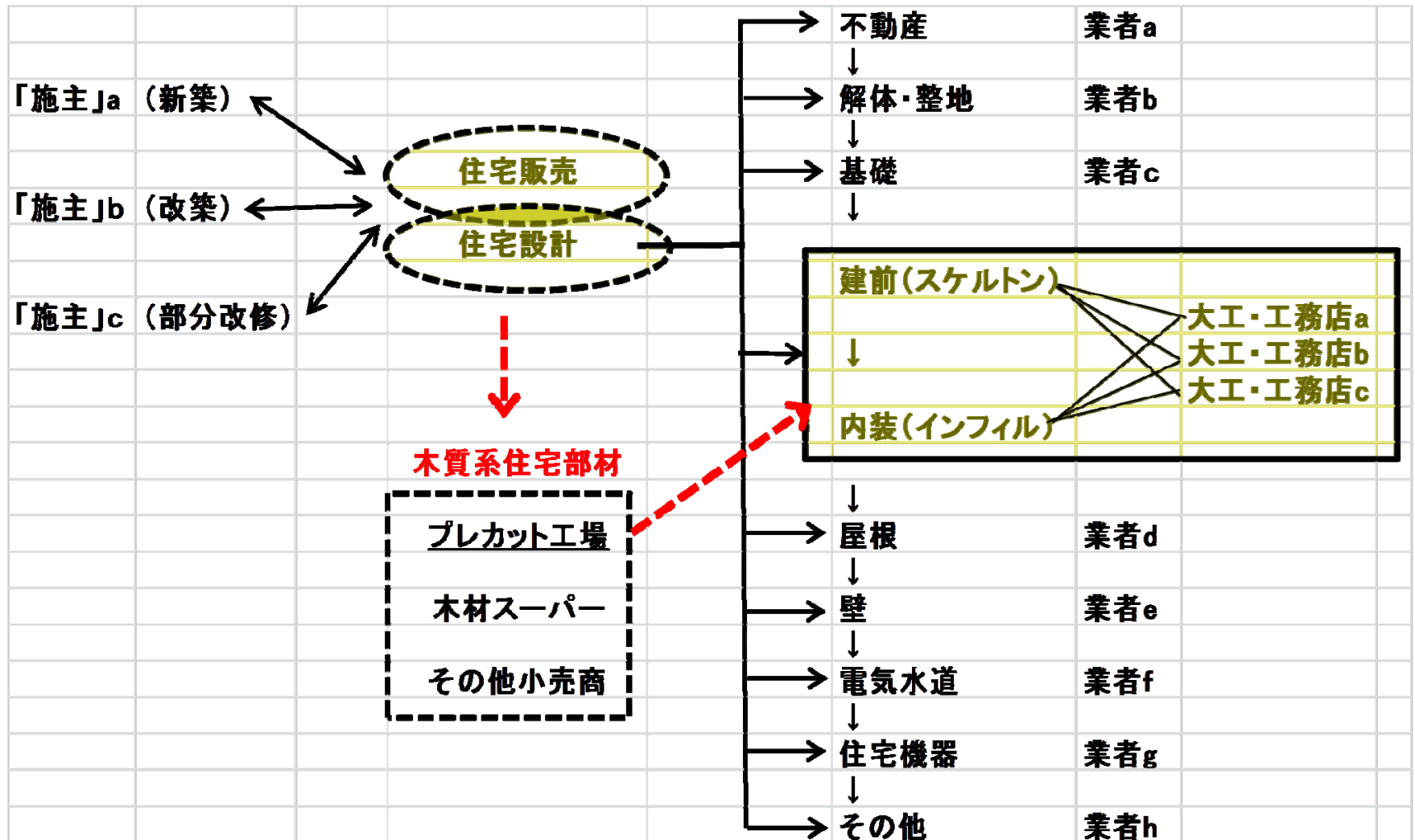
7 スモール・ビジネスとしての“地場の大工・工務店”

新築・改築・改修の施工棟数の拡大 (トータルな生産性向上とコスト管理)

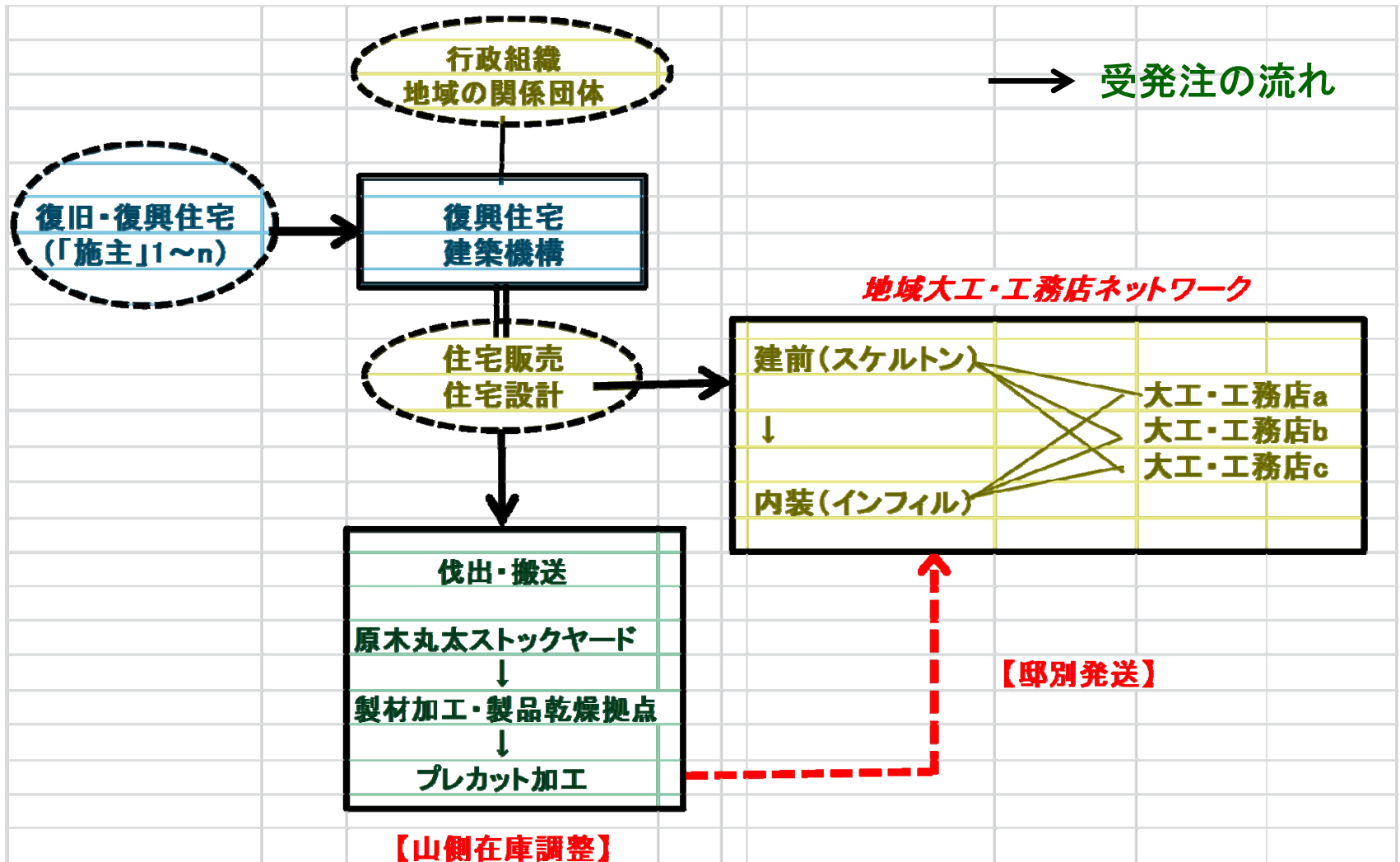


- 1 営業(「施主」との契約)、設計、総合的な施工管理の切り離し
⇒設計事務所のリーダーシップ向上
- 2 解体・基礎から完工引き渡しまでの分業体制の確立
⇒個々の契約関係の明確化とコスト管理
- 3 パートナーシップの確立
⇒「仲間請け」「下請け」のネットワーク化(契約の明確化)

8 ネットワーク型のスモール・ビジネス形成



9 地域大工・工務店のネットワーク化と復興住宅建設



震災復旧・復興の復旧・復興に向けた家づくりのシステム

分散的な個別住宅の復旧・復興と地域の大工・工務店
（“地場の大工・工務店”）の再生を目指して



- 1 復旧・復興住宅に関わる受発注機構の創設
（⇒財政的支援の集中）
- 2 大工・工務店間のパートナーシップ確立
⇒「仲間請け」「下請け」のネットワーク化（契約の明確化）
- 3 木質住宅部材の供給体制の整備
⇒山側「在庫型」システム
⇒邸別発送システム